

—北欧民話より—

三びきのやぎの がらがらどん



北欧民話の美しい世界を舞台にくりひろげる
ダイナミックな人形劇ファンタジー

軽快なポルトガルギターと
マンドリンの音楽にのせて
重量級カバ君の
コミカルな奮戦記。



ぼちぼちいこか

小学校体育館・小会場用上演作品

「三びきのやぎのがらがらどん」「ぼちぼちいこか」

- 上演時間 1時間20分（休憩15分含む）
- 編成 キャスト5名、スタッフ1名 / 計6名
- 運搬・移動 2トラック1台 / 2名トラック移動、他公共交通機関利用4名
- 諸経費（上演料+交通費+車両経費+宿泊費）+宣伝材料費

人形劇団プーク

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-12-3 ☎ 03-3370-3371 / FAX 03-3370-5120

✉ puppet@puk.jp 🌐 <https://www.puk.jp>

X @pukichichi / Instagram @puppet_theatre_puk





重量級カバ君
いろんなことに
がんばります！



ぼちぼちいこか

原作/マイク=セイラー 訳/いまえ よしとも 絵/ロバート=グロスマン(偕成社刊)



登場しますは、重量級のカバ君。
消防士、船のり、パイロット、バレリーナ……
いろいろちょう戦てみましたが、こたえはNO。
なにかとせわしい世の中ですが、こころでちょっと
ひとやすみ。
まあ、ぼちぼちいこか……。

早くわかること、早くできることは、
そんなに大切なことでしょか。
スピードアップされた暮らしの中で、
子どもたちは、いつでも立ち止まり、考
え、感じる必要があります。子どもの時
間を、子ども自身がたつぷりと、夢中で
使う必要があります。失敗にめげず、や
りなおすエネルギーは、そんな中から培
われるもののような気がします。
心のシャワーを浴びて、大いに笑って
ください。

〈失敗したら、やりなおそ〉

演出 井上幸子

三びきのやぎの がらがらどん

—北欧民話より—

脚色/中江隆介
潤色・演出プラン/安尾芳明
演出/野田史図希
美術/若林由美子
音楽/堀井勝美
照明/若井道代
振付/丸山はるか



〈光と闇の織りなす民話的世界〉

演出プラン 安尾芳明

闇を恐れる子どもたちが増えてきています。それはきつと文明社会が子どもたちから闇を追い出してきたからだと思えます。闇とは怖れです。自然への畏怖だと思おうのです。
「光のある喜びは、闇の怖れを乗り越えたところにあるのではー。」
この劇は、闇の世界と光の世界とで織り成されています。闇とは、腹をすかせてエサを採がし求める三びきのがらがらどんであり、橋の下に住む魔物のトルルです。
やぎたちは、闇の怖れにたじろぎはしますが、知恵と勇気でもって願いを達成します。そこから、光の時を迎えるのです。
この劇は、北欧的世界を表すために“6月の祝祭”からはじまります。広場に白樺の木を立て踊るのです。「三匹のがらがらどん」の民話は、そんな喜びの祝祭の中から生まれたのだと思えます。
民話には野生がうごめいていると思えます、子どもたちが、闇の怖れの中でも、ユーモアとやさしさを失わずに、いつものびやかに生きていって欲しいと思っています。

けわしい山にかこまれた むかしむかしの北の国。やぎが三びきおったときなまえはそろって がらがらどん。三びきのやぎのがらがらどんは、遠い山にごちそうを食べにでかけます。しかし、遠い山に行くには大きな魔物のトルルが住んでいる橋を渡らなければなりません。
カタンコトンと橋をわたる足音に
橋の下のトルルは目をさまします。
「だれだ ひとのみにしてくれる！」
橋の上には小さいやぎのがらがらどん……。



失敗したって
あせらずあせらず

